学校名 | 兵庫県立西はりま特別支援学校

1 ICTを活用した自立活動指導の実際

(1) 指導機関・指導時数

令和4年4月1日~令和5年3月31日 3日(12時間)

(2) 使用した遠隔システム

Zoom (2回)

- (3) 指導目標
 - ○長期目標

ICT 機器を活用することで、心理的にも身体的にもリラックスできる。

○短期目標

iPad で、好きな動画や絵本を見ることで、心理的にも身体的にもリラックスできる。

(4) 自立活動の区分・項目

4環境の把握 ②感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること 5身体の動き ①姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること

- (5) 指導内容
 - ・本児の好む動画を iPad で見る。
 - ・好きな絵本を写真に撮り、iPadで見る。
 - ・「絵本ひろば」のアプリを iPad にダウンロードして、好きな絵本を選 んで見る。
- (6) 指導の手立て
 - ・iPadを本児が簡単に操作することで、スムーズに学習を進められるようにする。
- (7) 指導上の工夫
 - ・本児の興味や関心のある教材を用意することで、意欲的に取り組めるような環境づくりをする。





絵本ひろばのアプリ

- (8) 校内の指導体制
 - ・研究研修部や情報図書部の先生に iPad の効果的な活用方法を聞いて、 教えてもらうことができた。本児の学習の為だけにとどまることなく、 指導する教員の資質の向上にも役立てることができた。
- (9) 関係機関との連携(在籍校・保護者・医療・福祉等)
 - ・ 特になし。

2 成果と課題

児童生徒の変容

(指導開始前)

本を読み聞かせる声を聞きながら、自分 で絵本のページをめくっていた。

(指導開始後)

好きな絵本を中心に見ていた。教師が絵 本児の好む動画や絵本を iPad で見ることを 始めると、教師が絵本を読み聞かせる声を聞 きながら、自分で画面をスワイプする様子が 見られた。

成果

本児の好む動画や絵本を iPad で見ることで、多くの笑顔が見られたり、笑い声が聞か れたりした。教師が「だ・る・ま・さ・ん・が」とセリフを言うと、リズムに合わせて 身体を左右にゆらゆらさせたり、だるまさんお動き(おじぎをしたり、身体をぎゅっと したり、にこっとしたり)を自発的に真似たりする場面が見られて、とても微笑ましか った。「絵本ひろば」のアプリの中から、自分の好きな絵本を指さしで選び、スワイプ しながら見ることができた。初めて見る絵本に興味や関心も示すことができた。iPad で、好きな動画や絵本を見ることで、心理的にも身体的にもリラックスできた と思われる。

今後の課題

ICT 機器を活用する中で、本児が主体的に活動できる場面を増やしていくこと が課題である。

3 【CTを活用した自立活動指導についてのコメント (児童生徒、保護者、教員等の声)

「だるまさん」シリーズの絵本以外にもたくさんの絵本に触れる機会を作って あげた方が、本児のためになると思われる。